【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成31年4月18日(2019.4.18)

【公開番号】特開2017-176557(P2017-176557A)
【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)
【年通号数】公開・登録公報2017-038
【出願番号】特願2016-69881(P2016-69881)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｆ　2/16　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　9/013　(2006.01)
Ａ６１Ｆ　9/007　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｆ　2/16
Ａ６１Ｆ　9/013
Ａ６１Ｆ　9/007　１３０Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成31年3月8日(2019.3.8)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
筐体内部に移動可能に設けられる移動壁によってその容積が変化する圧力室を持つ筐体本体と、
前記圧力室に連通する第１端子であって，チューブを介して吸引ポンプに接続するための第１端子と、
一端が前記移動壁に接続される移動部材であって，他端にて眼内レンズを直接的又は間接的に押し出すための移動部材と、
を備え、
前記吸引ポンプの吸引力によって生じる前記圧力室の陰圧に基づいて前記移動壁が移動することにより、前記吸引ポンプの吸引力を前記移動部材の直進運動に変換する、
ことを特徴とする眼内レンズ挿入器具。
【請求項２】
請求項１に記載の眼内レンズ挿入器具は、
前記圧力室に液体を流入するための第２端子を備える、
ことを特徴とする眼内レンズ挿入器具。
【請求項３】
請求項１または２に記載の眼内レンズ挿入器具において、
前記第１端子は前記圧力室内を移動する前記移動壁の移動限界位置よりも前側となる前記圧力室内に連通している、
ことを特徴とする眼内レンズ挿入器具。
【請求項４】
請求項１～３のいずれか１項に記載の眼内レンズ挿入器具において、
前記圧力室の内壁には
前記移動壁の前記直進運動における移動の限界を定めるための規制部材が設けられている、

ことを特徴とする眼内レンズ挿入器具。
【請求項５】
請求項１～４のいずれか１項に記載の眼内レンズ挿入器具を備える眼科手術システムは、
前記吸引ポンプを備える白内障手術装置本体と、
前記吸引ポンプを駆動させるためのフットペダルと、
前記吸引ポンプと前記眼内レンズ挿入器具に設けられる前記第１端子とを接続するチューブと、
を備えたことを特徴とする眼科手術システム。
【請求項６】
請求項５に記載の眼科手術システムは、
前記吸引ポンプの吸引流路に設けられ、前記吸引流路の圧力を検出する圧力センサーと、
前記圧力センサーの出力信号を用いて前記吸引ポンプの駆動を制御する駆動制御手段と、を備える、
ことを特徴とする眼科手術システム。